

講義科目名称： 体育一般

授業コード：

英文科目名称： Physical Education

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期	1年次	2単位 (1-1)	選択科目
担当教員			
ポドリヤク ナタリヤ			
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p><b>【テーマ】</b> 身体活動の意義や役割について理解を深め、生涯を通じて身体的・精神的・社会的な健康の維持増進や自己管理に資する基礎的な知識の習得や態度を講義及び実習を通じて育成する。</p> <p><b>【到達目標】</b> 知識・理解の観点：運動が与える健康への効果について理解する。 技能の観点：日常生活における身体の使い方や姿勢に気づき運動によって心と身体の調子を整える。 態度の観点：前向きに取り組む姿勢を育て、学生生活の活性化および体力増進を図ることができる。</p>
授業の概要	<p>現代社会において、健康・体力づくりの重要性が大きく指摘されている。本授業では、身体活動が持つ意義、楽しさや喜びとともに体力の向上に果たす役割などを理解し、心と体を一体として捉え、生涯にわたって豊かなスポーツライフを継続するとともに、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養うことを目的とする。</p>
授業計画	<p>第1回 ガイダンス；QOL (Quality of Life) と健康の概念</p> <p>授業の内容、授業計画、評価方法等についてのオリエンテーションを行う。WHOによる健康の定義や運動の効果について学ぶ。健康と運動、栄養について健康を推進、増進させ健康寿命の延伸について運動と栄養の分野から考える。“体力とは何か”についてグループディスカッション</p> <p><b>【事前学修】</b> 体力とは何かを栄養と運動の関連性について調べておく。(30分) <b>【事後学修】</b> 心身の健康を維持しより長く健康寿命を保つために何が必要かを考える。1週当たり90分以上の自らが実践した運動・スポーツ・身体活動について、運動実践記録表に記録する。(30分)</p> <p>第2回 グループワークにより現代の健康問題に関連する課題研究テーマを決定</p> <p>健康と運動の相関関係について学び、日常の理想的な生活はどうあるべきかを検証する。</p> <p><b>【事前学修】</b> 健康と運動の社会的な関わりについて考える。(30分) <b>【事後学修】</b> 講義内容に沿って各自考えをまとめる。1週当たり90分以上の自らが実践した運動・スポーツ・身体活動について、運動実践記録表に記録する。(30分)</p> <p>第3回 グループワークにより健康問題に関し調査・情報収集</p> <p>課題研究に関する資料調査を行いながら、現代の健康課題について学ぶ。課題の追求のために、グループで協力して実践的に学習していく。</p> <p><b>【事前学習】</b> 現代の健康課題としてどのようなものがあげられているか調べる。(30分) <b>【事後学習】</b> 現代の健康課題と関連する要因について調べ、学習ノートにまとめる。1週当たり90分以上の自らが実践した運動・スポーツ・身体活動について、運動実践記録表に記録する。(30分)</p> <p>第4回 グループワークにより発表の資料作成</p> <p>課題研究の資料に基づいて、グループで協力しながらプレゼンテーション資料を作成する。</p> <p><b>【事前学習】</b> 現代の健康課題としてどのようなものがあげられているか調べる。(30分) <b>【事後学習】</b> 現代の健康課題と関連する要因について調べ、学習の-とにまとめる。1週当たり90分以上の自らが実践した運動・スポーツ・身体活動について、運動実践記録表に記録する。(30分)</p> <p>第5回 グループ発表準備と役割分担</p> <p>課題研究の資料に基づいて、グループで協力しながらプレゼンテーションにむけての役割分担を行う。</p> <p><b>【事前学習】</b> 現代の健康課題としてどのようなものがあげられているか調べる。(30分) <b>【事後学習】</b> 現代の健康課題と関連する要因について調べ、学習の-とにまとめる。1週当たり90分以上の自らが実践した運動・スポーツ・身体活動について、運動実践記録表に記録する。(30分)</p> <p>第6回 グループ発表と学生相互評価</p> <p>現代の健康問題に関する各グループがプレゼンテーションを行い、健康推進のため日常の理想的な生活はどうあるべきかを学ぶ。</p> <p><b>【事前学習】</b> 現代の健康課題としてどのようなものがあげられているか調べる。(30分) <b>【事後学習】</b> 現代の健康課題と関連する要因について調べ、学習の-とにまとめる。1週当たり90分以上の自らが実践した運動・スポーツ・身体活動について、運動実践記録表に記録する。(30分)</p> <p>第7回 まとめレポート</p> <p>各グループの研究課題の発表を振り替えながら現代の様々な健康問題について見つけ考え、思</p>

	<p>考を深めていくことを検証しレポートにまとめる。</p> <p>【事前学修】健康と運動問題について考える。(30分) 【事後学修】健康と運動問題との関連性についてまとめる。1週当たり90分以上の自らが実践した運動・スポーツ・身体活動について、運動実践記録表に記録する。(30分) 体力測定とロコモテスト；ラジオ体操</p> <p>体力測定とロコモテストを行い、自分の体力状態と運動能力を知る。アイスブレイクゲームを行い、グループ内の人間関係構築を図る。</p> <p>【事前学習】ロコモシンドロームと原因について調べる。(30分) 【事後学習】体力測定とロコモテストの結果をもとに自分の体力状態について考え、まとめる。1週当たり90分以上の自らが実践した運動・スポーツ・身体活動について、運動実践記録表に記録する。(30分) チャレンジ・ザ・ゲーム：ロープ、ボール</p> <p>チャレンジ・ザゲームのルールを知り、大縄の縄跳びとボールの数類技を課題練習を行う。チャレンジ・ザゲームに挑戦する。</p> <p>【事前学習】体調を整え、縄跳びのいろんな跳び方とボールの受け方を調べて、練習する。(30分) 【事後学習】体のケアを行い、縄跳びの運動の効果についてまとめる。(30分) ラケットを使う競技：卓球、バドミントン、ミニテニス(類目特性と基本的術の理解)</p> <p>卓球とバドミントンのルールの理解をし、グループに分かれて基本的な技能を練習する。 卓球：スイング、フットワーク、ラリーなどの基礎の技を練習する。 バドミントン：ショートラリー、フリーラリー、ドロップ、スマッシュなどの基礎の技を練習する。</p> <p>【事前学習】体調を整え、卓球とバドミントンのルールを調べて、理解する。(30分) 【事後学習】体のケアを行い、本人の取り組み方(何を課題として取り組んだか)などについてまとめる。(30分) ラケットを使う競技：卓球、バドミントン、ミニテニス(ゲーム)</p> <p>卓球とバドミントンのルールを確認し、グループ分けし、練習を行った後、トーナメント試合を行う。</p> <p>【事前学習】体調を整え、卓球とバドミントンのルールを確認する。(30分) 【事後学習】体のケアを行い、本人の取り組み方(何を課題として取り組んだか)などについてまとめる。(30分) インディアカ(類目特性と基本的術の理解)</p> <p>インディアカのルールを理解する。インディアカの基礎技能(手のひらで掴める様にキャッチボール等)を練習する。</p> <p>【事前学習】体調を整え、インディアカのルールを調べて理解する。(30分) 【事後学習】体のケアを行い、本人の取り組み方(何を課題として取り組んだか)などについてまとめる。1週当たり90分以上の自らが実践した運動・スポーツ・身体活動について、運動実践記録表に記録する。(30分) インディアカ(戦術の理解・ゲーム)</p> <p>キャッチボールができるようになったら、ラリーの練習として、チーム毎のパス回しを行う。後半は、評価対象となるリーグ選を行う。</p> <p>【事前学習】体調を整え、運動に適した状態で講義に臨む(30分) 【事後学習】体のケアを行い、本人の取り組み方(何を課題として取り組んだか)などについてまとめる。1週当たり90分以上の自らが実践した運動・スポーツ・身体活動について、運動実践記録表に記録する。(30分) ソフトバレー(類目特性と基本的術の理解)</p> <p>ソフトバレーボールのルールを確認し、基礎的スキル練習を(色々なボールスローとキャッチ1対1、2対2、3対3)などを行う。</p> <p>【事前学習】体調を整え、ソフトバレーボールのルールを調べて、確認する。(30分) 【事後学習】本人の取り組み方(何を課題として取り組んだか)などについてまとめる。1週当たり90分以上の自らが実践した運動・スポーツ・身体活動について、運動実践記録表に記録する。(30分) ソフトバレー(応用技能練習とゲーム)</p> <p>スパイク練習、レシーブ～トス～スパイク、サーブ練習を行う。</p> <p>【事前学習】体調を整え、ソフトバレーボールのルールを調べて、確認する。(30分) 【事後学習】本人の取り組み方(何を課題として取り組んだか)などについてまとめる。1週当たり90分以上の自らが実践した運動・スポーツ・身体活動について、運動実践記録表に記録する。(30分) 実技テストとまとめレポート</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="checkbox"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="checkbox"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="checkbox"/></p>

	4) 初年次教育 5) 実践的PBL	{ }
テキスト	特になし	
参考書	『大学生のための「健康」論健康・運動・スポーツの基礎知識』電気通信大学 健康・スポーツ科学部会編、2016、道和書院 『健康と運動の科学』九州大学健康研究センター編、2016、大修館書店他	
評価方法	課題発表30%、授業20%、遊びカード30%、実技テスト20%	
評価基準	各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。 成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している 良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している 可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している 不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない 欠 (K) - ：出席不足	
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	【○】1. 建学の精神を理解し、またグローバル世界において平和を構築するために必要な良心と教養力を積極的に身につける意欲をもつ。 【 】2. 情報化社会に対応するために、高い倫理性を備えた情報機器の操作能力を習得する。 【 】3. 専門領域の学びを支える「コア科目」（キリスト教学、表現技法、コンピュータ・リテラシー）をはじめ、人文科学、社会科学等の基礎的な教養を習得することで、「知識・技能」、「思考力・判断力・表現力」、「主体性・多様性・協働性」を伸ばす意欲をもつ	
履修上の注意	学生が主体となって保育に係る実践力を身に付けることが重要な目的である。演習（発表）主体的に参加すること。各種連絡は、Microsoft Teamsや掲示版等を用いて行うことがある。必ず確認すること。詳細は講義の中で指示・説明します。	
オフィスアワー	毎週月曜日：3限目 西3-10研究室	
課題に対するフィードバック方法	課題は、授業内で返却する。	

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
後期	1年	2単位 (0-2)	選択必修科目 (教養教育外国語系)
担当教員			
中根 佳			
授業形態：講義 (遠隔授業になる可能性あり)			
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p><b>【授業のテーマ】</b> 外国人の子どもを受け入れるにあたり、保育者に求められているのは何かを考える</p> <p><b>【到達目標】</b>          &lt;知識・理解の観点&gt;          ・保育現場で必要とされる基本的な英語コミュニケーションを身につける。          ・異文化や多様性にふれ、理解や受容を深めることができる。</p> <p>&lt;技能の観点&gt;          ・基本的なコミュニケーションを英語で行うことができる。</p> <p>&lt;態度の観点&gt;          ・考え方の違いを尊重することができる。</p>
授業の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教科書の内容に沿ったペアでの会話練習、グループワークや講義を通してコミュニケーション能力を向上させ、自信をつける。</li> <li>・日本語でのコミュニケーションを図ることが難しい子ども達や家庭が存在するという事実について理解し、英語を使つての保育の基本を習得する。</li> <li>・日本の文化に馴染みのない家庭に安心して園行事に参加してもらうには、外国人保護者にどのような働きかけを行うべきかを考える。</li> </ul>
授業計画	<p>第1回 The Introduction of Childcare English (イントロダクション) なぜ今保育の現場に英語が必要なのか。日本・沖縄を取り囲む国際的環境を知り、保育英語の必要性について考えます。また、簡単な自己紹介について学びます。</p> <p><b>【事前学習】</b> 第1回の授業で気後れすることのないよう、教科書は必ず授業初日までに入手し、その内容の確認をする。 <b>【事後学習】</b> 2時間 シラバスの内容を確認し、授業がどのように進められていくのか理解する。</p> <p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。</p> <p>第2回 Learn common Childcare English vocabulary① (保育園や幼稚園でよく使われる英語の語彙を学習する①) 教室、園庭や多目的広場といった園の施設を表す言葉、また園長先生や担任、調理師など園で働く人を表す言葉を学びます。</p> <p><b>【事前学習】</b> 2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 <b>【事後学習】</b> 2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。</p> <p>第3回 Learn common Childcare English vocabulary② (保育園や幼稚園でよく使われる英語の語彙を学習する②) 手洗い場や棚、そして絵本やおまごセットなど、保育室の設備や教具などについての表現を学びます。また、簡単な疑問文とその答え方を練習します。</p> <p><b>【事前学習】</b> 2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 <b>【事後学習】</b> 2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。</p> <p>第4回 Time and Numbers, School required supplies (時間と数字の表現、保護者に用意してもらう用品の語彙を学習する) 数字や時間の表現方法を学びます。また、保護者に用意してもらう「うわばき」や「お着替え」、「お布団セット」など保育園や幼稚園でよく使われる語彙の英語での表現について学習します。</p> <p><b>【事前学習】</b> 2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 <b>【事後学習】</b> 2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。</p> <p>第5回 Inquire for the way (街の施設について学び、道案内をする) お散歩で目にするスーパーや公園、そして消防署など、街にある様々な場所の名称を覚え、前置詞を使って場所や道順を説明する表現を学びます。</p> <p><b>【事前学習】</b> 2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 <b>【事後学習】</b> 2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。</p>

第6回	<p>Children on the Playground (園庭の環境について、そして子どもたちの遊びについて学ぶ) おにごっこやおままごとといった子どもの遊びと、その動作を表す表現を学びます。また、園庭の砂場やすべり台などの遊具とその遊び方についての表現を学びます。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p>
第7回	<p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。 中間まとめ これまで学んだことを復習し、実際に活用できるかをチェックする機会とする。</p> <p>【事前学習】2時間 これまで学んだことのまとめをする。 【事後学習】2時間 理解が足りないと感じるパートの復習をする。</p>
第8回	<p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。 Toilet Dialogue and Fight (昼食風景、子供の排泄に関する表現を学ぶ) 排泄に関する表現や英文での連絡帳でのやりとりや、けんかや物の取り合いをしている子どもたちへの保育者としてのさまざまな言葉がけの表現を学びます。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p>
第9回	<p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。 Face and body, and Physical condition (体の部位についての語彙と、病気についての表現方法を学ぶ) 体の部位に関する語彙を学び、英語で表現します。元気がなかった、吐き気があった、などの体調を現在完了形を用いて保護者に伝える場面について学びます。また、かすり傷や打撲などのけがや病気についての表現も学びます。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p>
第10回	<p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。 Jobs at Nursery School (保育者の園での一日の仕事の流れを英語で学ぶ) 保育者の一日の仕事について英語で学びます。Kid's classとToddler's classとの一日の流れの違いについても確認します。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p>
第11回	<p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。 Japanese recipes in English (給食のメニューの英語表現を学ぶ) 肉じゃがや胡麻和えなど、給食に出される日本食のメニューを英語で学びます。また、好き嫌いに関する表現方法を学び練習します。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p>
第12回	<p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。 Annual School Calender (年中行事の表現と、連絡帳や園からのお知らせについて学ぶ) 入学式、七夕まつり、運動会などの園行事の英語表現について学びます。また、園からのお知らせの書き方、連絡帳の書き方について学びます。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p>
第13回	<p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。 Childcare Equipment (教室にある備品や子どもの発達についての英語表現を学ぶ) おむつや哺乳瓶など、乳幼児のための用品について学びます。また、寝返りをうつ、ハイハイするなどの発達に合わせて出てくる乳幼児の動きについての表現を学びます。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p>
第14回	<p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。 Memorial day and Family tree (記念日と家族について英語の語彙を学習する) 記念日についての表現について学びます。また、お父さんやお母さん、おじいちゃんやおばあちゃんといった、家族についての語彙を学びます。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p>

	<p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。</p> <p>第15回 Travel abroad and Medical Vocabularies (海外渡航に備える) 旅行や海外研修などで使える英語表現や語彙について学びます。</p> <p>【事前学習】2時間 授業で取り組む会話に目を通し、分からない単語や表現を調べる。 【事後学習】2時間 授業で取り組んだ会話を復習後、課題に取り組む。</p> <p>※遠隔授業の場合：Teamsを利用。</p> <p>第16回 グループ発表 (※期末テスト) これまでグループで調べてきた内容を発表する。</p> <p>【事前学習】グループ発表の準備・練習をする。 【事後学習】なし</p> <p>※遠隔授業の場合：可能であればTeamsで発表し、グループでまとめた資料を共有する。</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 <input type="radio"/></p> <p>2) 情報リテラシーに関する科目 <input type="radio"/></p> <p>3) ICTの活用 <input type="radio"/></p> <p>4) 初年次教育 <input type="radio"/></p> <p>5) 実践的PBL <input type="radio"/></p>
テキスト	保育の英会話 -Childcare English- 第2版, 赤松直子・久富陽子著, 萌文書林, 2011.
参考書	特になし
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業への参加度 (20%)、個人課題 (40%)、グループ課題 (40%) を総合的に評価します。</li> <li>・遠隔授業を実施する場合、グループ発表に代わり、課題等による評価に変更することもあります。</li> </ul>
評価基準	<p>成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。</p> <p>秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている</p> <p>優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している</p> <p>良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している</p> <p>可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している</p> <p>不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない</p> <p>欠 (K) -：出席不足</p> <p>※遠隔授業となった場合には評価方法が変更となる可能性があります。その際には講義内で説明します。</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>【○】1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。</p> <p>【○】2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を实践する態度を追求する。</p> <p>【○】3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。</p> <p>【○】4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。</p> <p>【○】5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士 (保育) の学位を授与する。</p>
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラスへの参加が重要視されるクラスとなります。自身の体調管理はしっかりと行い、理由のない欠席はしないようにしてください。</li> <li>・ペアやグループでの発表には積極的に取り組んでください。</li> <li>・正当な理由以外での欠席は認められません。欠席届は、その理由が「公欠」にあたる場合にのみ提出してください。</li> <li>・出席状況については各自で管理・確認してください。</li> <li>・遠隔授業になった場合にはTeamsを用いて講義を行います。</li> </ul>
オフィスアワー	<ul style="list-style-type: none"> <li>・質問等は、授業終了後に教室で受け付けます。</li> <li>・遠隔授業実施期間中には、授業終了後に必ず質疑応答の時間を設けます。授業時間内に対応のできない質問に関しては、メールでのやりとりも受け付けます。使用するメールアドレスは授業スタート時にお知らせします。</li> </ul>
課題に対するフィードバック方法	クラス全体で特に多かった間違いや、クラス全体で抑える必要があるポイントを授業の中で確認します。

開講期間	配当年	単位数(週時間)	科目必選区分
前期/後期	1年	2単位(0-2)	必修科目 (教養教育)
担当教員			
内間 清晴			
授業形態：演習 遠隔授業の可能性あり	ナンバリング：ITL111301		
添付ファイル			

授業のテーマ及び到達目標	<p>PCの基礎的操作方法を習得させる。具体的にはワープロによる文章の作成、表計算ソフトによる数値情報の分析方法等が実践的に修得できる。</p> <p>(1) 基本的な情報倫理が理解でき、情報化社会へ倫理感を持って参加できる。(態度)</p> <p>(2) 電子メールの送受信・転送設定等ができる。(技術・表現)</p> <p>(3) 150字以上/1分間のタイピング能力を身につけることができる。(技術・表現)</p> <p>(4) インターネットを活用し、基礎的な情報収集ができる。(知識・理解)</p> <p>(5) ワープロによる文章の作成ができる。(知識・理解)</p> <p>(6) 表計算ソフトによる数値情報の分析ができる。(知識・理解)</p>
授業の概要	<p>① 本授業では、ワープロソフト、表計算ソフトに実際に触れながら、各ソフトウェアの操作方法を修得する。授業内容は、文書の作成、基本的なデータの集計などを行う実技形式での授業となる。ソフトウェアとしては、Microsoft社のワープロソフトであるWord、表計算ソフトであるExcelを使用する。</p> <p>② 早くて確実な文字入力ができるように。毎授業の最初の10分間はタイピングソフトを使用し、タイピングの練習を行う。(トータルで3時間以上のタイピング練習を行い、1分間で150文字以上の入力速度を目標に取り組んで下さい。)</p> <p>* 毎回の演習内容を復習し次回の演習の予習を行う。(15回分の講義内容はTeamsを通して配布いたします。)</p> <p>* 各講義の初めに、プロジェクターを使用し、講義内容の説明を行う。</p> <p>* 講義時において、教師と学生の双方向(1対1)にコミュニケーションができるコールシステムを使用し、学生の質問に答える。</p>
授業計画	<p>第1回 オリエンテーション：①使用登録・パスワードの設定 ②電子メールの設定 ③Windowsの基本操作 ④タイピング</p> <p>① PC(パーソナルコンピュータ)へのログイン、パスワードの設定方法、電子メールの使用の方法、PCのOS(オペレーティングシステム)であるWindowsの基本操作、WordやExcel等のソフトウェア、デスクトップ、プリンター等のハードウェア、インターネットでの検索方法を学ぶ。</p> <p>② 文字入力が早く確実に行えるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第2回 パソコンの概念及びWord2019：①OSの種類 ②ソフトウェアとハードウェア ③フォルダの作成 ④基本的な情報倫理 ⑤基本的な文書作成</p> <p>① 文字入力が早く確実に行えるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② WindowsやMac(マッキントッシュ)等のOS(オペレーティングシステム)の種類、WordやExcel等のソフトウェア、デスクトップやプリンター等のハードウェアについて学ぶ。</p> <p>③ 情報が氾濫する現代社会における基本的な情報倫理について学習する。</p> <p>④ Word2019を起動させ、文書入力の一連の基本操作を学習する。</p> <p>⑤ 文書を作成し、学生各自のUSB内に作成したフォルダへの保存方法を学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第3回 Word2019：①Wordの基本操作 ②文章の作成および保存(USBメモリー等) ③文字のデザイン</p> <p>① 文字入力が早く確実に行えるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② Word2019を起動させ、ページレイアウトを設定し文書を作成する。作成した文書のいろいろな保存方法およびファイルの種類を表す拡張子について学習する。</p> <p>③ 入力した文書を見やすくデザインする方法を学ぶ。</p> <p>④ フォントデザインや行揃え行間設定等のスタイル変更方法を学ぶ。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p>

第4回	<p>Word2019：Smart Artによるデザイン</p> <p>① 文字入力が早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② SmartArtによるデザイン方法を学習する。</p> <p>③ SmartArtを使用してテキストの表現力を高め方法や色やスタイルについて学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】 授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】 授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p>
第5回	<p>Word2019：テキストボックスのデザイン・レイアウト，ビジュアル要素の設定（チラシ作成・ポスター作成）</p> <p>① 文字入力が早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② テキストボックスをデザインレイアウトする方法を学習する。</p> <p>③ 可能性の高いデザインを使用する方法を学習する。</p> <p>④ テキストボックスでのレイアウト、均等割付け、割注等の設定、図形の挿入、テキストボックスのスタイル変更およびモニターの画像の文書内貼付け等について学習しポスターを作成する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】 授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】 授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p>
第6回	<p>Word2019：段組み</p> <p>① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② 段組みを設定する方法について学習する。</p> <p>③ 入力した文書の段組みについて学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】 授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】 授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p>
第7回	<p>Word2019：縦書きレイアウト</p> <p>① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② 入力した文書の段組み、ヘッダー・フッターの設定、縦書き2段組みレイアウトについて学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】 授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】 授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p>
第8回	<p>Word2019：表の作成および編集</p> <p>① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② 表を作成し、行と列の挿入およびセルの分割・結合、表のテキストボックス化等の表の編集方法について学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】 授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】 授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p>
第9回	<p>Word2019：ハガキのデザインおよび名刺の作成</p> <p>① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② ページをハガキや名刺サイズに設定し、挨拶文の自動入力の方法や名刺ラベル作成方法を学習し学生各自の名刺を作成する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】 授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】 授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p>
第10回	<p>Excel2019：Excelの基本操作およびデータ入力</p> <p>① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。</p> <p>② Excel2016を起動し、画面の名称と機能について学び、実際にデータを入力し、セル幅・高さの変更および数値の表示形式の変更等について学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。</p>

	<p>*遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】 授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】 授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第11回 Excel2019：計算式および関数設定 ① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ② 計算式(数式)の入力方法、計算式のコピーおよび関数設定方法を学び、関数を使用しているワークシート内の計算方法(合計、平均、最大値および最小値)を学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】 授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】 授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第12回 Excel2019：データの条件設定 ① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ② データに条件を設定し判断や判別をさせる方法について学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】 授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】 授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第13回 Excel2019：集計表およびグラフ作成 ① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ② セルにデータを入力し、合計と平均等の同時設定や絶対参照の設定方法について学び、入力したデータから棒・円グラフ等の作成方法を学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】 授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】 授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第14回 Excel2019：データベースの構造 ① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ② データベースの構造について学び、データベースの並べ替え、データの検索および抽出方法を学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>【事前学習】 授業で指示された次回授業の例題を行う。(2時間) 【事後学習】 授業で学んだ演習内容を復習し、与えられた課題を行う。(2時間)</p> <p>第15回 Excel2019：IF関数の条件設定 ① 文字入力 that 早く確実にできるようになるために、毎回の演習の最初の10分間はミカタイプソフトを使用しタイピングの練習を行う。 ② IF関数を使ったデータベースの管理方法を学習する。</p> <p>*遠隔授業の場合：Microsoft Teamsで講義資料の配布演習を行う。 *遠隔授業の場合：同時双方向型授業をMicrosoft Teamsを利用して実施</p> <p>第15回 なし</p>
授業における具体的な特色や方法	<p>1) アクティブ・ラーニングを促す取組 【<input type="checkbox"/>】 2) 情報リテラシーに関する科目 【<input type="checkbox"/>】 3) ICTの活用 【<input type="checkbox"/>】 4) 初年次教育 【<input type="checkbox"/>】 5) 実践的PBL 【<input type="checkbox"/>】</p>
テキスト	定平誠『例題50+演習問題100でしっかり学ぶWord/Excel/PowerPoint標準テキスト(Windows10対応 office 2019対応版) 2019年 技術評論社
参考書	よくわかるWordデータ, よくわかるExcelデータ
評価方法	課題/タイピング能力・・・90点 授業への参加意欲・・・10点
評価基準	<p>各評価方法に関してルーブリック評価を行う。詳細は初回講義時に説明する。</p> <p>*遠隔授業の場合、評価方法を変更するため、ルーブリックについても変更あり。詳細は講義内で説明。</p> <p>成績評価は100点満点で行い、以下のとおり評定します。 秀 (A) 90点以上：到達目標を十分に達成し、非常に優れた成果を修めている 優 (B) 80点～90点未満：到達目標を十分に達成している</p>

	<p>良 (C) 70点～80点未満：到達目標をある程度達成している  可 (D) 60点～70点未満：到達目標を最低限達成している  不可 (F) 60点未満：到達目標を達成していない  欠 (K) —：出席不足</p>
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(保育科)  【 】 1. キリスト教精神に基づき、他者と異文化への理解を深め、子どもに仕え、平和でよりよい保育環境を実現するための態度を身につける。  【 】 2. 保育者としての豊かな感性を身につけ、自らを律し他者との対話を通して、主体的に保育を実践する態度を追求する。  【○】 3. 幅広い教養教育と専門科目を通して思考力・判断力・表現力を身につける。  【 】 4. 地域を拠点に、国内外の子どもや保育の課題を解決するために貢献できる。  【○】 5. 学則に定める修業年限を満たし、卒業に要する所定の単位数を修得した者に対し、短期大学士（保育）の学位を授与する。</p>
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各自USBメモリーを準備すること</li> <li>・演習の授業です。受け身にならず、積極的に課題に取り組んで下さい。</li> <li>・毎回の演習内容を復習し次回の演習の予習を行う。</li> </ul> <p>*遠隔授業の場合、Microsoft Teams等で提示する資料や課題を必ず確認すること。  同時双方向型授業を実施する場合は、授業開始時にはPCで参加できるように準備すること。</p>
オフィスアワー	<p>火曜日（14：50-16：10）内間研究室  上記の時間以外でも対応可能（事前予約必要）</p> <p>*遠隔授業実施期間においては、メールおよびオンライン面談（Microsoft Teams使用）を行う。  面談の設定については、Microsoft Teamsのチャットで連絡</p>
課題に対するフィードバック方法	<p>提出された課題は担当教員がチェックし、提出した課題の内容が不十分な場合には、改善点等を説明し再提出してもらいます。</p>